

保険者によるReal World Evidenceベースでの政策立案の未来像



演者

上田 琢磨 氏

日本生命保険相互会社

ヘルスケア事業部 部長

(日本アクチュアリー会 正会員)

データ駆動型社会が実現されつつある今、ライフログデータとしての“PHR (Personal Health Record)”は、これからの社会・医療課題の解決に欠かすことができません。一方、プラットフォームとしての“PHR”は、ライフログデータのみならず医療データやマイナポータルデータ等を含む生活者個人の医療ヘルスケアデータ統合プラットフォームの役割を果たし、これからのデータポータビリティ社会において、どれほど重要な存在となるか…容易に想像できるでしょう。

本年度、全11回で月次開催する「Welby Lunch Session」では、データポータビリティ社会の実現に向け、医療・ヘルスケア領域における豊富な知見と実績を持つプロフェッショナルをお招きし、PHRデータ流通のビジネスへの応用に関する法令の解説や、安全なデータ流通のための新技術、さらに具体的なソリューションや事例を示しながら、医療DXの先にある社会と生活者の姿についての展望を皆様にお届けします。

2025年初回となる第12回のテーマは、保険者支援事業を担う日本生命が描く、保険者による政策立案の未来像です。EBPM (Evidence-Based Policy Making)が骨太の方針でも協調される中、ヘルスピックデータ由来のReal World Evidenceに基づく政策立案について、現在の具体的な保健者支援事業内容や展望を交えてご講演いただきます。

日時

2025年 2月 27日 (木)
12:05 ~ 12:55

場所

ZOOM開催

参加費

無料

※申込締切：2025年 2月 26日 (水) 17:00まで

お申込みは**下記の二次元コードを**
クリックまたは**読み取り**ください

